

		<p>訪問先: 鹿島建設株式会社環境本部及び株式会社都市環境エンジニアリング(2010.11.15)、中央環状品川線シールドトンネル(北上)工事現場(2010.11.26)、廃食用油新規回収先(2011.1.7)</p> <p>審査内容: (1)本プロジェクトが、プロジェクト申請書及び同別紙モニタリングプラン並びにモニタリング報告書(Ver.1.6)記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、バイオディーゼル燃料製造方法・管理体制(含:電力量計)、バイオディーゼル燃料使用車・ディーゼル・ロコ用発電機、バイオディーゼル燃料使用量の把握方法(給油計測器等)、並びに QA/QC 体制について。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を現地オリジナル伝票によってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、不確実性(計測器の精度等)について検証。特に、 ＜ベースライン排出活動＞廃棄物収集運搬車及びディーゼル・ロコ用発電機へのバイオディーゼル燃料給油量、 ＜プロジェクト排出活動＞バイオディーゼル燃料製造設備使用電力量、メタノール使用量、バイオディーゼル燃料運搬車両の軽油使用量、新規廃食用油回収先運搬車の軽油使用量 について。 (3)新規廃食用油回収先を訪問し、従前の処理方法がエネルギー使用でなかった[焼却処分、マテリアル使用]ことを確認。</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2		81※	72※		
検証結果の要約		<p>JAGOCDMは、回収廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造し、廃棄物回収車及びトンネル工事現場におけるディーゼル・ロコ用発電機で利用し、従前の軽油に代替する本プロジェクト活動に関して、モニタリング期間(2009年4月1日～2010年7月31日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、本プロジェクトに関する「モニタリング報告書」(Ver.1.6)は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)(Ver2.1)」、ポジティブリスト及び方法論(E004「廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用」Ver.2.0)に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量154tCO₂[※印の合計値(切捨調整後)]は、プロジェクト申請書及びモニタリングプランに基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値は、1.15-2.31 tCO₂(排出削減量の0.75-1.50%)となり、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインに規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。